

初年度は3カ月間で75人が利用した「と
ち生活あんしんセンター」。うち9人
が就職するなど順調な滑り出しとなった



とち生活あんしんセンター

「求職」50件 9人が就職

昨年度利用 3カ月で75人

十勝総合振興局は、昨年12月に開設した「とち生活あんしんセンター」(帯広市東4南18)の2014年度の利用実績をまとめた。生活や仕事で悩む人の相談窓口で、計75人が利用。うち9人が派遣社員などで就職し、順調な滑り出しを見せた。(佐藤志穂)

本年度から就業体験も

帯広を除く18町村の在住者が対象。職業紹介事業の「ウィルワーク」(旭川)が請け負い、1月から本格的に業務を始めた。1〜3月の3カ月間の実績では、年代別で最も多か

ったのは40代の22人で、50代13人、60〜65歳11人と続いた。10代も1人、20代は5人いた。内容は「求職」50件、「収入、生活費、医療費」45件で、複数にまたがるケースもあった。

就職に結びついた9人のうち、30代の男性は面談を行った当日、求人を出していた道外の製造業者に就職が決まった。「本人にやる気があった上、勤務地を問わなかったことがよかった」(同センター)という。車で寝泊まりをしていた40代男性も相談日にあった求人に応じ、道内の製造業に就いた。

一方、過去に就いた職業などに絞って探している人は、なかなか就職できないという。本年度からは求人と求職者のミスマッチを減らし、スムーズな就業を促す目的で、新たに十勝管内の福祉施設や商店などでインターンシップ(就業体験)も行う。協力を申し出ている事業所は約30に上る。

本年度から相談支援員も2人増の5人にした。中島亜希子センター長(49)は「相談から就労にもつながったケースは少なくない。まずは気軽に相談してほしい」と強調する。

問い合わせは同センター ☎0155・66・7111 2へ。